

○令和2年6月2日（火）人権・同和教育LHRを実施しました。



◎ 主 題：「被差別部落の歴史」～近世・差別の起源～

今回の2年生のLHRでは、部落差別がいわれのない差別であることを認識し、差別解消への積極的態度を育成することを目的とした学習を行いました。部落差別問題を理解するために、中世のケガレ意識に端を発し、近世になって、身分制度に組み込まれたという被差別部落の起源と歴史について学習しました。

本校の2年生は、1年生1学期に、「本当の友達とは」というテーマで、「自分らしくあること」とはどういうことかを考え、自分の考えや気持ちを伝えることや自尊感情をもつことの大切さを学びました。また、「相手の気持ちを思いやる」とはどういうことかを考え、個人がもつ価値観や生き方を認め合う心を育てることを学びました。

1年生2学期では、ハンセン病回復者差別について学習するとともに、ハンセン病についての正しい知識と理解を学習し、ハンセン病回復者や家族の人権と尊厳が回復されて真の社会復帰が実現するためには何が大切かを考えました。

さらに、1年生3学期に「違いのちがい」というテーマで、個人がもつ価値観の違いや多様性を知り、多文化共生やそれを容認できる心を育てる取組みをしてきました。

2年生では、本時において、「被差別部落の歴史」～近世・差別の起源の学習を通じて、いわれのない差別解消への積極的態度を育成し、次回の部落解放への歩みへと学習をつないでいきます。